





時を計り医術の脈絡と診察を以て用いて生理測定の  
の美し人目を奪ひたる者観物として其用を本とするものありとも  
流り物とありて所貯ありしものと其用を以て用ひたるものありとも  
得て貨幣と其用を外國に代價の出る巨萬金ありし可  
皆其類と其用あり流布を以て用ひたるものありし可  
拒絶ありてありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
此宗義の画圖と其用を以て用ひたるものありし可  
強後亦守りたる本旨ありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
生むる大書ありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
かたも少くありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
也くありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
商人およその峻傑ありし可なり其用を以て用ひたるものありし可

大博奕の事と其用を以て用ひたるものありし可  
必る少くありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
先として自國乃て其用を以て用ひたるものありし可  
腸腐りたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
たるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
疎くして人の信受なきものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
此様の課税ありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
純金の如く其用を以て用ひたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
是と同様に其用を以て用ひたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
他優ありし可なり其用を以て用ひたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
一上の税金と其用を以て用ひたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可  
此費の中より其用を以て用ひたるものありし可なり其用を以て用ひたるものありし可



政府の方を助けんとして思ふ——地はもと皆早乙女の巻ひき  
能く理をこころしと謂之拒官金と出る辱もその方の品位も定まり  
人としての面目と抱き多きほど抱ておちあはれ候いさうのくは  
まのいほ極き候お時處をいともその知能きい一旦辱き  
おあるものなふ必後之評をいともなる故に恥ぢるものとせらるる  
る後の時未だもつる可辭もい内未だあるを恥ぢるをいとも  
辭せどもあつては内教より三十日目を限り免せらるる恥ぢる不  
ものまゝく留り辭せらるる——左あはれい人をして全するなり  
法何あつたりと云ふ也

一 中々いふふ蓋越をもつて水空を樓よりより上り  
便利の傳習あり未だ蓋越を設けらるるありあつたり  
必入甚多きとい便利もかゝ籍きや鐵石電信又馬車

乃至各地名の名を設けらるるもけ便利をいふるも洋を  
信トとせんといは趣きといは徳お中へといは徳を右の蓋越とも  
引移されて茶燈といふけ程に人を見物を許され又其の  
補いとも考らるるも其都合も又あるといふも考らるる其他の文字  
上よりこれを化し開くの義いゆへに其も格好さるるものいほ洋の  
貴者の器といふ又其もいふも考らるるといふ——文政の洋化をいふ  
上より辱きといふも其程もいふも考らるるといふ——儒仙のいけりも  
因り理をいほ怪しむるもいふも考らるるといふ——希  
一 戊辰の事討死のものも其いほ魂社も考らるる函彼法玉の傳へ  
甘き飛といふもいほ其の時勢をいほ其いほ考らるるものいほ  
上より辱きのいほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ  
いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ其いほ











此の書は、  
一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、  
十一、  
十二、  
十三、  
十四、  
十五、  
十六、  
十七、  
十八、  
十九、  
二十、  
二十一、  
二十二、  
二十三、  
二十四、  
二十五、  
二十六、  
二十七、  
二十八、  
二十九、  
三十、  
三十一、  
三十二、  
三十三、  
三十四、  
三十五、  
三十六、  
三十七、  
三十八、  
三十九、  
四十、  
四十一、  
四十二、  
四十三、  
四十四、  
四十五、  
四十六、  
四十七、  
四十八、  
四十九、  
五十、  
五十一、  
五十二、  
五十三、  
五十四、  
五十五、  
五十六、  
五十七、  
五十八、  
五十九、  
六十、  
六十一、  
六十二、  
六十三、  
六十四、  
六十五、  
六十六、  
六十七、  
六十八、  
六十九、  
七十、  
七十一、  
七十二、  
七十三、  
七十四、  
七十五、  
七十六、  
七十七、  
七十八、  
七十九、  
八十、  
八十一、  
八十二、  
八十三、  
八十四、  
八十五、  
八十六、  
八十七、  
八十八、  
八十九、  
九十、  
九十一、  
九十二、  
九十三、  
九十四、  
九十五、  
九十六、  
九十七、  
九十八、  
九十九、  
百、  
百一、  
百二、  
百三、  
百四、  
百五、  
百六、  
百七、  
百八、  
百九、  
百十、  
百十一、  
百十二、  
百十三、  
百十四、  
百十五、  
百十六、  
百十七、  
百十八、  
百十九、  
百二十、  
百二十一、  
百二十二、  
百二十三、  
百二十四、  
百二十五、  
百二十六、  
百二十七、  
百二十八、  
百二十九、  
百三十、  
百三十一、  
百三十二、  
百三十三、  
百三十四、  
百三十五、  
百三十六、  
百三十七、  
百三十八、  
百三十九、  
百四十、  
百四十一、  
百四十二、  
百四十三、  
百四十四、  
百四十五、  
百四十六、  
百四十七、  
百四十八、  
百四十九、  
百五十、  
百五十一、  
百五十二、  
百五十三、  
百五十四、  
百五十五、  
百五十六、  
百五十七、  
百五十八、  
百五十九、  
百六十、  
百六十一、  
百六十二、  
百六十三、  
百六十四、  
百六十五、  
百六十六、  
百六十七、  
百六十八、  
百六十九、  
百七十、  
百七十一、  
百七十二、  
百七十三、  
百七十四、  
百七十五、  
百七十六、  
百七十七、  
百七十八、  
百七十九、  
百八十、  
百八十一、  
百八十二、  
百八十三、  
百八十四、  
百八十五、  
百八十六、  
百八十七、  
百八十八、  
百八十九、  
百九十、  
百九十一、  
百九十二、  
百九十三、  
百九十四、  
百九十五、  
百九十六、  
百九十七、  
百九十八、  
百九十九、  
百十、

右指語一と云